

いのち輝く『あきたの未来』へ

[特別講演：がん医療の未来を変える]

がんと共に生きる— いのちの主人公・からだの責任者として

認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

1965年大阪府大阪市生まれ。自らの患者体験から、患者の自立と主体的な医療への参加の必要性を痛感。91年11月にCOMLと出会い、翌年2月からスタッフに。2002年4月に法人化したNPO法人ささえあい医療人権センターCOMLの専務理事兼事務局長を経て、11年8月理事長に就任。18年6月に書籍『賢い患者』（岩波新書）を刊行。社会保障審議会医療部会をはじめ、数多くの厚生労働省審議会・検討会の委員を務める。広島大学歯学部客員教授。ラジオNIKKEI「賢い患者になろう！」パーソナリティ。



がん医療の最前線—課題と展望

国立がん研究センター中央病院 病院長 瀬戸 泰之氏

1958年秋田市生まれ。東京大学医学部卒。同大学医学部第一外科、国立がんセンターがん専門修練医、医療法人明和会中通総合病院副院長、がん研有明病院上部消化管担当部長などを経て、2008年に東京大学医学部消化管外科教授、19年には病院長に就任。24年から国立がん研究センター中央病院長に就任し、「患者ファースト」を掲げながら専門家集団を率いる。ロボット支援手術を活用した食道がん根治術「NOVEL」などを開発した世界的外科医としても知られる。



がんに強く身体に優しい 近赤外光線免疫療法（光免疫療法）

アメリカ国立衛生研究所終身主任研究員
関西医科大学附属光免疫医学研究所長（併任） 小林 久隆氏

1961年兵庫県西宮市生まれ。京都大学医学部卒。専門は、がんの新しい画像診断方法と「光免疫療法」の開発。2011年、近赤外光線免疫療法を開発し、翌年当時のバラク・オバマ大統領の一般教書演説で紹介されたことで、日本政府に「世界で活躍し『日本』を発信する日本人」として表彰される。14年にはNIH長官賞を受賞し、20年9月にはこの「光免疫療法」が世界で初めて薬事承認された。22年より関西医科大学光免疫医学研究所長（併任・無給）。



テーマ／いのち輝く『あきたの未来』へ 総合司会：菅原 咲子 AKTアナウンサー

○ 開会の挨拶 秋田大学 学長 南谷 佳弘

○ 来賓挨拶 元内閣総理大臣 現第18代自由民主党副総裁 菅 義偉 氏（ビデオメッセージ）



特別講演 がん医療の未来を変える

講演1 がんと共に生きる —いのちの主人公・からだの責任者として 認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

講演2 がん医療の最前線—課題と展望 国立がん研究センター中央病院 病院長 瀬戸 泰之氏

講演3 がんに強く身体に優しい近赤外光線免疫療法（光免疫療法）

アメリカ国立衛生研究所終身主任研究員 関西医科大学附属光免疫医学研究所長（併任） 小林 久隆氏

休憩（15分）

特別企画 希望はここから—ともに前へ進もう

司会：秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長 羽淵 友則

ゲストトーク がんという現実—希望を見いだすために 堀 ちえみさん

ゲストインタビュー 堀 ちえみさん パネルトーク 堀 ちえみさん / 山口 育子氏 / 瀬戸 泰之氏 / 秋田県医師会 会長 小泉 ひろみ氏

○ 閉会の挨拶 秋田大学医学部附属病院 病院長 渡邊 博之

※プログラムの内容は、予告なく変更になる場合があります。